

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 28 年 1 月 28 日 (2016.1.28)

【公表番号】特表 2015-504779 (P2015-504779A)

【公表日】平成 27 年 2 月 16 日 (2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報 2015-010

【出願番号】特願 2014-549508 (P2014-549508)

【国際特許分類】

B 0 7 B 1/46 (2006.01)

【F I】

B 0 7 B 1/46 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 12 月 3 日 (2015.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フレーム (12) と；

前記フレームに枢着される本体 (13) を有する原料処理装置と；

前記原料処理装置 (10) のための原料を送り込むためのフィーダ (11) と；

を備える原料処理設備において；

第 1 の枢支点 (24) と、該第 1 の枢支点 (24) に対して第 1 の距離隔てて設けられる第 2 の枢支点 (25) とを有する第 1 の枢動支持アーム (23) を備える第 1 の連結手段であって、前記フィーダ (11) の第 1 の端部を動かすべく、前記第 1 の枢支点 (24) は前記フィーダの第 1 の端部 (11) に接続されると共に前記第 2 の枢支点 (25) は前記原料処理設備の前記フレーム (12) に接続される、第 1 の連結手段と；

第 3 の枢支点 (19) と、該第 3 の枢支点 (19) に対して第 2 の距離隔てて設けられる第 4 の枢支点 (18) とを有する第 2 の枢動支持アーム (17) を備える第 2 の連結手段であって、前記フィーダの第 2 の端部を動かすべく、前記第 3 の枢支点 (19) は前記フィーダ (11) の第 2 の端部に接続されると共に前記第 4 の枢支点 (18) は前記原料処理装置の前記本体 (13) に接続される第 2 の連結手段と；

前記フィーダ (11) を第 1 の状態と第 2 の状態との間で動かすためのアクチュエータ (22) と；

を更に備える、原料処理設備。

【請求項 2】

前記第 2 の連結手段 (17、18、19) は、前記フィーダ (11) と前記原料処理装置 (10) とに対して第 1 および第 2 の状態の間で動かされるべく配され、

前記第 1 の状態において、前記第 4 および前記第 3 の枢支点 (18、19) は互いに対してほぼ水平面の方に位置し、

前記第 2 の状態において、前記第 4 および前記第 3 の枢支点 (18、19) は互いに対してほぼ鉛直面の方に位置する、

請求項 1 に記載の原料処理設備。

【請求項 3】

前記第 2 の連結手段 (17、18、19) は、前記フィーダ (11) と前記原料処理装置 (10) とに対して前記第 1 および前記第 2 の状態の間で動くべく配され、前記第 1 の

状態において、前記第 3 の枢支点 (1 9) は、前記水平面を基準に見ると、前記第 4 の枢支点 (1 8) の下方に位置付けられ、前記第 2 の状態において、前記第 3 の枢支点 (1 9) は、前記水平面を基準に見ると、前記第 4 の枢支点 (1 8) の上方に位置付けられる、請求項 1 に記載の原料処理設備。

【請求項 4】

前記第 2 の支持アーム (1 7) を前記第 1 および前記第 2 の状態の間で動かすために、前記アクチュエータ (2 2) は、前記原料処理装置の前記本体 (1 3) と前記第 2 の支持アーム (1 7) のフィーダ側端部とに枢着される、請求項 2 に記載の原料処理設備。

【請求項 5】

前記第 1 の支持アーム (2 3) を前記第 1 および第 2 の状態の間で動かすために、前記アクチュエータ (2 2) は、前記フィーダ (1 1) と前記第 1 の支持アーム (2 3) の処理装置側端部とに枢着される、請求項 2 に記載の原料処理設備。

【請求項 6】

前記第 1 の状態は前記原料処理設備の輸送状態であり、前記第 2 の状態は前記原料処理設備の作動状態である、請求項 2 から 5 のいずれかに記載の原料処理設備。

【請求項 7】

前記アクチュエータ (2 2) は、電気シリンダ、油圧シリンダ、空気シリンダのうちの 1 つである、請求項 2 から 5 のいずれかに記載の原料処理設備。

【請求項 8】

前記原料処理設備は、前記第 1 または前記第 2 の枢動支持アーム (2 3 、 1 7) を、前記第 1 および第 2 の状態にほぼ静止させてロックするためのロック手段 (1 7 、 1 8 、 2 0 、 4 2 、 4 3 、 4 4 、 4 5) を更に備える、請求項 2 から 5 のいずれかに記載の原料処理設備。

【請求項 9】

前記原料処理設備は、前記原料処理装置の第 2 の端部を動かすべく、前記原料処理装置の前記本体に接続される第 5 の枢支点 (1 5) と、前記原料処理設備の前記本体に接続される第 6 の枢支点 (1 6) とが設けられた第 3 の支持アーム (1 4) を有する第 3 の連結手段を備える、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の原料処理設備。

【請求項 10】

前記第 3 の連結手段は、前記原料処理設備の前記フレームと前記原料処理装置の前記本体とに対して、第 4 および第 5 の状態の間で動かされるべく配され、前記第 4 の状態における前記フレームと前記本体との間の鉛直距離は前記第 5 の状態における前記距離より小さい、請求項 9 に記載の原料処理設備。